

(20) サイズ選択的漁獲や放流は潜砂性二枚貝の 性転換に影響するか？

予算

科学研究費助成事業（科学研究費補助金） 若手研究

概要

これまでの二枚貝の資源管理では、個体群の維持を目的に、サイズ選択的に大型個体が漁獲され、若齢個体が放流されてきた。しかし、一部の二枚貝では体サイズ依存による性転換が確認されており、サイズ選択的漁獲や放流は性比の歪みを招く可能性がある。本研究では性転換するアカガイをモデルに、大阪湾においてアカガイの繁殖生態と漁業の関係を明らかにすることを目的とした。

市場調査では、2022年5月から毎月大阪湾で漁獲されたアカガイを買い上げて、漁獲されているアカガイの年齢構成・性と年齢の関係を明らかにした。大阪湾では低年齢の内に漁獲される個体が多く、その結果、漁獲物中の性比はオスに偏っていることが示唆された。採捕禁止区域での試験操業では、アカガイがあまり生息していないことが明らかとなった。

担当者

安岡法子